

1. 計画名称

一般廃棄物(ごみ)処理基本計画

2. 計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	やや遅れている	説明	3Rを積極的に推進してきたことで、ごみの減量化に対する市民の意識が高まってきたことから、ごみの排出量は減少傾向で推移している。しかし、リサイクル率は横ばいで推移しており、今後も更なるごみの減量化、資源化に取り組む必要がある。このことから、今までの取組と併せて家庭系ごみの有料化や事業系ごみの手数料改定により、インセンティブが働く施策を計画的に実施していく。
今後の重点化 施策番号	1	説明	将来的には施設の更新を行う必要があり、建設費をできる限り抑えるためにも、住民・事業者・行政の役割を明確にして、ごみの減量化に取り組む必要があるため。

3. 各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	住民・事業者・行政の役割の明確化と実行	やや遅れている	9種類19品目の資源物分別収集による資源化や剪定木等のウッドチップ化、木製家具類の資源化などを実施してきた。その中で、ごみの減量化に対する市民の意識が高まってきたことから、ごみの排出量は減少傾向で推移した。	ごみステーションを管理する環境自治会役員等の負担が大きくなっている。また、地域柄事業系ごみが多いが、事業者への啓発が十分に行えていない。	環境自治会役員等の負担軽減策を検討する。 事業者向けのパンフレット等を作成し、事業系ごみの分別、資源化を促す。 事業系ごみの手数料改定、家庭系ごみの有料化を計画的に進める。
2	発生抑制(Reduce)、再利用(Reuse)、再利用(Recycle)の推進	遅れている	資源化の推進や美サイクル茅野との連携した取組を行ってきたが、民間のリサイクルステーションの利用者が増えたことにより、リサイクル率は概ね横ばいで推移した。また、茅野環境館は、施設の老朽化により令和5年度末で閉館したことから、新たな取組を検討している。	リサイクル率が上がっていない。地域柄事業系ごみが多いが、事業者への啓発が十分に行えていない。	美サイクル茅野と協働して、ごみ減量化、資源化に向けた新たな取組を検討する。 事業者向けのパンフレット等を作成し、事業系ごみの分別、資源化を促す。 事業系ごみの手数料改定、家庭系ごみの有料化を計画的に進める。
3	環境に配慮した効率的なごみ処理体系の構築	おおむね順調	焼却施設の定期的な点検と必要な修繕工事を実施したことから、安定したごみ処理が行われた。	焼却施設については稼働してから26年が経過し、老朽化が進んでいる。	施設の延命化を図るため、長期的な修繕計画を策定する。
4					
5					

※5つ以上の場合は裏面へ

4. 関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

		主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称	美サイクル茅野	環境に配慮した取組を積極的に行っている事業者を表彰、認定してはどうか。	他市町村の取組を研究する。
開催回数	1		
参加延べ人数	10		